

環境目標：生徒の環境意識を高め、 自立した生徒が育つ富岡中学校 ～生徒主体の環境保全～

【ゼロカーボンシティ実現に向け、力を入れた環境活動】

節水・節電気・食べ残し^{ゼロ}を意識させるため、美化・給食委員会の生徒主体で全クラスへ取組を周知し、限りある資源について考えるきっかけづくりと、行動力を育んでいる。

【どのようにゼロカーボンシティ実現に貢献しているか】

生徒の主体的な行動から環境意識を高められるように教員が働きかけ、目に見える形(数値)で達成状況を確認することで、環境保全を自分ごととして捉えさせる。

<主な教育効果：主体性の育み、環境配慮意識の向上、環境保全の意欲の増進>

1 《地球温暖化防止・エネルギー》

ISO点検期間(9月・2月)の3日間、節水・節電を生徒がクラス内で呼びかけ、達成できた人数を記録する。3日間の推移や、2回の比較をし、限りあるエネルギーを大切にしようとする態度を育てている。

ISO点検 チェック項目	年 組		
	1学期	2学期	3学期
International Organization for Standardization (国際標準化機構) 環境に影響を与えないこと。	4/13(木) ～17(月)	9/1(月) ～5(水)	1/12(金) ～16(火)
加湿器・電気のつけっぱなしを防ぐことができた。(クラスとして)	人	人	人
給食の残飯を可能な限りなくすことができた。(個人として)	人	人	人
水道の水はこまめに止め、節水を意識できた。(個人として)	人	人	人
集計時出席人数	人	人	人

2 《みどり・生物多様性》

美化委員の生徒が自主的に落ち葉清掃を登校後に行った。その姿を見て自ら参加する生徒が増え、下級生も



参加するようになった。地域の環境美化活動には、住んでいる自治会の活動へ個別に参加した。

3 《資源循環》

給食コンクール期間(6月・11月)の1週間、学年を越えて様々な教員が給食指導に入った。

今年度(4月～12月)は残食量が多い(令和4年度：約5.1kg, 令和5年度：約9.3kg)ため、給食委員の生徒は重点と捉え、給食時に教室で呼びかけたり、校内放送を使うなど積極的に残食量削減に向けて声かけをしたりした。

栄養教諭が毎月食育掲示板に季節に合わせた食材を紹介し、食に関する意識向上を図っている。

<給食コンクール>

	13月(月)	15日(木)	16日(木)	17日(金)	合計
1組	30	30	30	27	127
2組	27	30	27	30	114
3組	26	27	29	29	111
5組	30	30	30	29	119

<食育掲示板>

